

総合評価結果報告書

施設の名称	静岡市中央体育館、静岡市南部体育館、静岡市長田体育館、静岡市東部体育館、静岡市北部体育館、清水清見潟公園（体育館、室内プール及びトレーニング室）、静岡市蒲原体育館、静岡市西ヶ谷総合運動場並びに静岡市清水総合運動場		
課 名	スポーツ振興課		
指定管理者名	公益財団法人 静岡市スポーツ協会		
指定期間	平成3年4月1日 ～ 令和8年3月31日		
評価委員会 開催年月日	令和7年6月19日（木）		
評価委員 ※（ ）内は職名 等を記載してく ださい。	①委員長 能口 富（スポーツ振興課長） ②委 員 木宮 敬信（静岡市スポーツ推進審議会 会長） ③ “ 大石 孝夫（静岡市清水区スポーツ推進委員会 委員長） ④ “ 池田 佳隆（スポーツ振興課 施設担当課長） ⑤ “ 松浦 康弘（観光政策課長）		
評価点 (各委員平均点)	92.0点	評価	Ⓐ・B・C・D・E
評価結果詳細	別紙「総合評価結果総括表」のとおり		
総合評価結果を踏 まえての施設所管 課としての意見	1 履行状況の確認について 定期的に研修を実施し、条例に掲げる施設の設置目的や施設運営上の基本方針を職員全員が理解するとともに、安全で安心な施設運営及び円滑な教室等の事業を実施している。 2 指定管理者の創意工夫について 定期教室の空き期間や稼働率の低い室場を使用し、ワンコイン1回完結型の体験教室や「水鉄砲」「親子体操」など魅力ある自主事業を行うなど施設の有効活用を図っている。 3 市民（利用者）サービスの向上について 教室参加者に対してアンケート調査を行い毎年90%以上と高い評価を受けている。利用者アンケートについては月単位で集計し、課題・要望等に対しては適切に対応している。 4 施設固有の評価項目について 「学校プール向上研究」や「放課後子ども教室」では施設管理のハード面と指導実績のソフト面を持ち合わせる当協会にしかできない取り組みを行うことで、市民のスポーツ普及に大きく貢献		

	している。
--	-------

総合評価結果総括表

施設の名称〔体育館（中央、南部、長田、東部、北部、蒲原）、清水清見潟公園スポーツセンター、総合運動場（西ヶ谷、清水）〕
 指定管理者〔公益財団法人静岡市スポーツ協会〕

			A 評価 委員	B 評価 委員	C 評価 委員	D 評価 委員	E 評価 委員	平均 点
1 履行状況の確認			【配点50点】					
(ア)施設の設置目的及び施設運営上の運営方針を理解した運営	職員が施設の設置目的及び施設管理上の運営方針を理解した上で運営が行われているか。	(5点)	5	5	5	5	5	5
	静岡市スポーツ推進計画の各施策を考慮した事業運営が行われているか。	(5点)	5	4	5	5	5	4.8
	静岡市健康長寿のまちづくり計画、静岡市生涯学習推進大綱などの各施策と考慮した事業運営が行われているか。	(5点)	5	4	4	5	4	4.4
(イ)当初、計画書等に示された事業目的の達成度（各年度の目標値達成度）	当初の計画書等に示された施設維持管理がなされているか。	(4点)	4	3	4	4	4	3.8
	指定事業の実施は適正に実施されているか。 自主事業の実施は適正に実施されているか。	(4点)	4	4	4	4	4	4
	各年度の目標値が達成されているか。	(4点)	4	2	3	3	3	3
(ウ)施設の管理体制	安全利用に支障がきたすことのないよう施設の維持管理、日常点検、修繕等が実施されているか。	(4点)	4	3	4	4	3	3.6
	災害発生時の対応体制を整備し、避難訓練や防災訓練を実施しているか。	(2点)	2	2	2	2	2	2
	事故発生時の迅速な対応と市への報告がなされているか。	(2点)	2	2	2	2	2	2
	管理運営にかかる規則、規程、マニュアル、業務日誌等を作成し、適正に業務が行われているか。	(2点)	2	2	2	2	2	2
	利用者受付業務は適切に行われているか。	(2点)	2	2	2	2	2	2
	職員が利用者に対して公平公正な利用ができるよう努めているか。（応対、接遇等）	(2点)	2	2	2	2	2	2
	個人情報の保護について適正な運用がされているか。	(2点)	2	2	2	2	2	2
	必要な人員、適正な能力を持った職員の適正な人員配置がなされているか。	(2点)	2	2	2	2	2	2
	第三者委託先との調整が適切に行われ、業務の履行において監視、指導、確認等が行われているか。	(1点)	1	1	1	1	1	1
	適切な会計処理がされ、経理書類の作成と保管がなされているか。	(1点)	1	1	1	1	1	1
	モニタリングにおいて、改善事項等が生じた場合、改善が見られたか。	(1点)	1	1	1	1	1	1
	職員が研修しやすい環境を整え、職員の資質向上に努めているか。（資格の取得やスキル向上のための外部研修）	(1点)	1	1	1	1	1	1
	環境に配慮した調達や業務実施が行われているか。	(1点)	1	1	1	1	1	1
小計			50	44	48	49	47	47.6

		A 評価 委員	B 評価 委員	C 評価 委員	D 評価 委員	E 評価 委員	平均 点	
2 指定管理者の創意工夫								【配点15点】
(ア) 自主事業における工夫 (新たな事業価値の創出)	貸館業務や指定業務の妨げにならないよう、自主事業の運営を行い、施設の有効活用に努めているか。	(2点)	2	2	2	2	2	2
	自主事業において創意工夫がみられ、魅力的な賑わい創出につながる事業を行っているか。	(2点)	2	2	2	1	2	1.8
	利用者増加のための提案事業(自主事業)を積極的に行っているか。	(2点)	2	1	2	1	2	1.6
(イ) 収入増加のため、指定管理者のノウハウ(専門性・技術・経験等を活かした事業等)を活かした取組み	収入増加策として具体的な取組を行っているか。	(3点)	2	2	2	3	2	2.2
(ウ) 利用者ニーズに沿った事業展開	利用者ニーズを把握し、事業の見直しを行い、事業の改編等を行っているか。	(3点)	3	2	3	3	3	2.8
(エ) 初心者を考慮(事業内容や新規受講者獲得)した事業展開	初心者を考慮(事業内容や新規受講者獲得)した事業を行っているか。	(3点)	3	2	3	3	3	2.8
小計		14	11	14	13	14	13.2	

		評価点	A 評価 委員	B 評価 委員	C 評価 委員	D 評価 委員	E 評価 委員	平均 点
3 市民(利用者)のサービスの向上								【配点15点】
(ア) 施設利用者(施設利用者・教室参加者)調査	施設利用者(施設利用者・教室参加者)調査を実施し、調査結果を分析しているか。	(3点)	3	3	2	2	3	2.6
	調査結果分析結果を満足度向上のための具体的な取組に反映しているか。	(2点)	2	2	2	2	2	2
(イ) 利用者・市民アンケート	利用者アンケート等の調査結果を分析し課題を抽出しているか。	(1点)	1	1	1	1	1	1
	利用者アンケート等から抽出した課題に対して、対応策を講じているか。	(1点)	1	1	1	1	1	1
	利用者アンケート等の結果や課題対応策の公表をしているか。	(1点)	1	1	1	1	1	1
(ウ) 苦情対応	苦情が寄せられたことがあるか(指定管理者管理によるもののみ)	(1点)	0	0	0	0	0	0
	苦情等が寄せさせた内容等を記録すると共に内容を検討し、対応策を講じているか。	(2点)	2	2	2	2	2	2
(エ) 利用者に対して施設情報やイベント等の情報提供	利用者に対して施設情報やイベント等の情報提供に努めているか。	(2点)	2	1	2	1	2	1.6
(オ) 関係機関との連携・地域への参画(地域との交流)	関係機関との連携を図ると共に地域への参画(地域との交流)を積極的に行っているか。	(2点)	2	2	2	2	2	2
小計			14	13	13	12	14	13.2

			A 評価 委員	B 評価 委員	C 評価 委員	D 評価 委員	E 評価 委員	平均 点
4 施設固有の評価項目								
【配点20点】								
(ア)指定管理者の経理状況の 評価 (収支計画・実績について)	効率的な執行や経費縮減の具体的な取り組みは行われているか。	(3点)	2	2	3	3	2	2.4
	適正な収入が得られているか。	(2点)	2	2	2	2	2	2
	事業計画の健全性を考慮した事業展開が行われているか。	(2点)	2	2	2	2	2	2
	事業収支において、適正な会計処理がなされているか。	(2点)	2	2	2	2	2	2
(イ)他施設との連携事業	複数施設を一括管理することのメリット活かし、他施設との連携事業が行われているか。	(5点)	4	5	4	5	3	4.2
(ウ)施設特性を生かしたネット ワークの構築	地元市町村や関係団体との 連携広報計画など施設利用促進に向けて具体的な方策が行われているか。	(3点)	2	3	3	3	3	2.8
(エ)事業展開の独自性	施設特有の料金体系を提案するなど独自性をもった事業展開が行われているか。	(3点)	2	3	3	3	2	2.6
小計			16	19	19	20	16	18
合計			94	87	94	94	91	92.0

※評価委員名は記載しない。

※平均点は、小数点以下第2位を四捨五入する。

各評価委員の所見のまとめ（※各評価委員の所見をそのまま記載してください。）

【A評価委員】
スケールメリットを活かした運営が行われている。
【B評価委員】
努力は認められるが、方向が誤っていないか、結果がついてきていない。
【C評価委員】
利用者に喜ばれる行事運営を期待する。
【D評価委員】
当該年度の課題を次年度の改善へつなげていくスピード感が資料からはあまり感じられないが、運営そのものは適切に行われているものと評価できる。
【E評価委員】
体育館の場所や規模、仕様によって特徴を出して事業が実施されている。今後はプロスポーツとの連携など静岡市ならではの特徴を活かした取組についても検討し、進めていただきたい。
評価委員会としての意見
定期的に研修を実施し、条例に掲げる施設の設置目的や施設運営上の基本方針を職員全員が理解するとともに、安全で安心な施設運営及び円滑な教室等の事業を実施している。定期教室の空き期間や稼働率の低い室場を使用し、ワンコイン1回完結型の体験教室や「水鉄砲」「親子体操」など魅力ある自主事業を行うなど施設の有効活用を図っている。教室参加者に対してアンケート調査を行い毎年90%以上と高い評価を受けている。利用者アンケートについては月単位で集計し、課題・要望等に対しては適切に対応している。 「学校プール向上研究」や「放課後子ども教室」では施設管理のハード面と指導実績のソフト面を持ち合わせる当協会にしかできない取組を行うことで、市民のスポーツ普及に大きく貢献している。